

## 第8回環境やまがた大賞受賞

表彰式は、平成19年6月5日(火)にホテルメトロポリタンにおいて行われ、“もったいない”やまがたECOチャレンジキャンペーンのキックオフイベントの中で、後藤副知事から表彰状が手渡されました。

### 受賞団体の概要

氏名又は団体名	理由
環境を守る三地区 連絡協議会 (山形市)	山形市南山形地区、本沢地区及び上山市山元地区の3地区の住民一丸となり、地区内を貫流する本沢川を産業廃棄物による汚染から守るための環境美化活動をはじめ、環境学習など環境問題全般に積極的に取り組んでいる点が評価できる。
社団法人 日本自動車販売協会 連合会 山形県支部 (山形市)	環境マイスター制度を全国に先駆けて導入し、地球温暖化防止活動の一環として自動車から排出されるCO <sub>2</sub> 削減などに積極的に取り組み、自動車業界としてエコカーの普及推進、エコドライブの拡大周知、省エネ車に対する意識啓発などを行っている点が評価できる。
東沢地域づくり推進 協議会 (山形市)	東沢地域住民のボランティアにより、馬見ヶ崎川河岸の支障木伐採、清掃等の整備を継続的に実施し、さらにビオトープやメダカ池などにより環境教育の場となるとともに市民の憩いの場となる親水空間を創出し、河川敷が大人も子どもも集う世代間交流の場となっている点が評価できる。
白鷹町立鮎貝小学校 (白鷹町)	学校の裏にある8haの山を「教育の森」と位置づけ環境教育の場として活用し自然観察などを日常的に行っているほか、地域住民、町農林課、土地改良区など様々な分野の方々の協力を得ながら、多様な環境教育を実施している点が評価できる。

